

※1枚ずつお取りください。

川上校区 第152号 公民館だより

発行 佐賀市立川上公民館 TEL(62)5775 FAX(62)5775
E-mail:kkawakami@city.saga.lg.jp 川上のアオバスク



作品名：「うんどうじょうから見た川上小学校」
川上小3年 志波瑠希人さん(立石)

令和7年(2025年)2月

佐賀市の人口 226,505人 川上校区の人口 5,749人 川上校区の世帯数 2,252世帯 【令和6年12月末現在】

川上校区公民館からのお知らせ 佐賀市のwebサイト「つながる川上」

まちづくり協議会で実施している活動、校区の行事、公民館講座など、生活に役立つ便利で楽しい情報を掲載しています。

「つながる川上」



公民館のご利用について

皆さんの生涯学習やサークル活動、地域コミュニティ活動の場として、どなたでも部屋のご利用ができます。
(※営利活動等は除く)



「公民館予約システム」
自宅からでも



公民館主催・共催講座等の報告

川上校区の課題と取組みについて出前講座を開催しました

今年も川上校区の課題と取組みについて出前講座を開催しました。各種団体を対象に5月、6月に実施し、今回は、大久保自治会の公民館で住民の方を対象に実施しました。公民館の役割、運営方針、川上校区の課題についてお話ししました。また、令和5年度に公民館及び各種団体が取り組んできた活動内容をスライドで報告しました。参加者からは、川上校区の団体、公民館などが地域の活性化のために色んな事業に取り組んでいることを初めて知ったとの声も聞かれました。

【11月17日(日)参加者：13名 公民館主催】



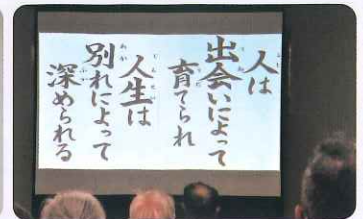
大久保公民館



出前講座の様子です

住職による講話「別れと出遇いと仏さま」を開催

自分自身を一度立ち止まって考える機会としていただくために住職による講話を年1回開催しています。今年度は「別れと出遇いと仏さま」と題して、龍谷高校の平井幸太郎先生に講話をお願いしました。私たちは、世の常である「別れと出遇い」を繰り返して生きています。さまざまな人や物、出来事などと出遇い、そしてその全てといずれ別れるという命(仏教：変化・消滅)を生きています。それは「諸行無常(しょぎょうむじょう)」だからです。人の世がはかないということです。深い悲しみや苦しみを経験して見えてくる世界がある。人は出遇いによって育てられ、人生は別れによって深められる。自身の人生観と体験談を交えながらお話しをしていただきました。「人生を見直す機会になった。心がリセットされました。大変すばらしい企画でした。ありがたいお話でした。」などたくさんの感想が寄せられました。【於：校区公民館11月26日(火)参加者：44人 公民館主催】



龍谷高校の平井幸太郎先生(住職)による人生の別れと出遇いの講話に興味深くに聞き入る参加者の皆さん

2月の講座・行事等の開催日程 ※詳しくは、1月号 公民館だよりをご覧ください。

2月20日(木)、27日(木)、3月6日(木) TBS TV『プレバト』で話題の・・・色鉛筆画教室を開催

2月23日(日) 08:00~10:00 大規模地震が発生したとの想定で住民参加の避難訓練を実施します

※詳細については、川上校区公民館(Tel 62-5775)に問い合わせください。

直下型地震(能登半島地震)の怖さについて講演会を開催しました

今回は、直下型地震(能登半島地震)について、地震学・構造力学が専門の荒牧軍治氏(嘉瀬川防災施設さが水ものがたり館館長・佐賀大学名誉教授)に講演をしていただきました。

昨年の1月1日に起きた能登半島直下型地震は、歴史的景観を誇っていた古い建物が崩壊して多くの人命を奪いました。また、30年前に発生した阪神淡路大震災で直下型地震の怖さを思い知らされたことは、記憶として刻まれています。その直下型地震の特徴と怖さを詳しくお話していただきました。また、日本では2千以上もの「活断層」が見つかっている。地下に隠れて地表に現れていない「活断層」もたくさんあるとのことでした。いつ起こるかわからない災害に備えておくためにも是非この機会に、ご家族で話し合っ「災害への備え」を心がけてほしいと思います。

【於：校区公民館 12月13日(金)参加者：85名 自主防災会・公民館・校区各団体との共催】



自主防災会の年4回の取り組みに佐賀市消防団北部方面隊大和支団4・5分団(川上校区)の皆さんも参加していただいています。



川上小6年生を対象に凧作り教室を開催しました (子どもたちの体験活動「志taiken」支援事業補助金を活用)



川上小6年生54名が凧作りに挑戦しました。講師は山田良典さん(元小学校校長で凧作り指導者)と中原克訓さん(肥前佐賀大和紙鷺の会)です。また、まち協から5人が凧作りのサポートをしてくれました。講師の指導で自らが工作道具を使って、凧作りに挑戦すること2時間程で完成させました。

翌朝、全員がグラウンドで凧あげを楽しみました。子どもたちは1月に開催された川上凧あげ祭りに自身で作製した手作り凧を持ち寄って家族や友人と楽しんだことと思います。

この凧作り教室は、イオン九州株式会社様からの寄付金を財源に佐賀県青少年育成県民会議が子どもの地域での体験・交流活動を支援する「志 taiken 支援事業」補助金を活用したものです。

【於：川上小 12月19日(木)6年生54名 講師他サポーター11人 公民館・まち協共催】



タブレットを見て絵を描く子ども

村島実行委員長より参加賞を

6年生とまち協スタッフとで

翌朝グラウンドで凧揚げを

お家に飾ってお正月を「いけばなアレンジ」教室を開催しました

草月流の松尾朱華先生による「正月いけばなアレンジ教室」を開催しました。お正月におめでたい“松竹梅”竹の花器に松、梅。彩りにピンポンマム、葉牡丹、ナンテン、ミリオンバンブーを花材に思い思いに自由な発想で活けられました。最後に先生から一人一人の作品に感想を頂きました。また、互いの作品を見比べ、カメラに収められていました。持ち帰った作品はリビングや玄関、床の間などに飾って季節を感じる喜びを味わっていただき華やかなお正月を迎えられたことと思います。

【於：校区公民館 12月26日(木)参加者：15人 公民館主催】



先生のアドバイスを受けながら思い思いに活けました

先生から一人一人に感想を

華やかなお正月を迎えられます

今年も川上産大豆を使った味噌作り教室を開催しました

川上産大豆を使った無添加味噌作り教室を開催しました。講師は、まち協農業部会副部会長の北村タツ子氏です。大豆が炊き上がるまでは、色々な話で盛り上がり楽しい交流の時間になりました。食べるようになるまで3ヵ月程度寝かせたら熟成して美味しくなるそうです。この味噌作り教室は、参加者同士の交流と発酵食品「味噌」への関心と健康への効果などを家族で知ってもらうことを目的に毎年開催しています。【於：JA大和農産加工所 11月15日(金) 受講者：11名 公民館・まち協共催】



味噌について説明を受けました



圧力釜で蒸しあげた大豆



大豆を潰し麹菌と混ぜます



持ち帰り用として一人5kg

今が旬・川上の地域ニュース



川上小4年生「農業と食について学ぶ」稲刈りを体験



川上小の4年生が6月の田植え体験から10月の収穫時期を迎えて稲刈りの体験をしました。今回も金丸さんをはじめPTAや学校運営協議会委員のみなさんがボランティアで参加して体験をサポートしてくれました。子どもたちは刈り取りから稲を干すまでの一連の作業までを体験しました。鎌を使った収穫に戸惑いながらも、徐々にコツを掴んだ様子で体験を楽しみました。児童からは「初めてだったけど、だんだんコツが分かって楽しくなってきた」などの感想が聞かれました。収穫したお米は学校のフリー参観デーでの販売や全児童でおにぎりにして食味するそうです。自分の口にするものがどうやって作られているのか、また、作ってくれる人への感謝の気持ちを学ぶために、毎年4年生を対象に農業体験を行っているとのこと。【於：川上小学校南 取材日：10月24日(木) 4年生61名】



地元農家(まちづくり協議会「農業の良さを活かしたまちおこし部会」の金丸輝雄さん)の協力で川上小4年生が農業体験をしました



子どもへのまなざし街頭活動を行いました



佐賀市一斉“子どもへのまなざし”街頭活動を朝の通勤通学時間帯に合わせて実施しました。自治会長会、交通安全協会、川上小お守り隊など12名の方が立石北交差点で学校に向かう子どもたちの安全を願って交通指導、また、あいさつ運動を通して子どもたちが安心、かつ健やかに育つ環境づくりのために街頭活動を行いました。【取材日：11月13日(水) 青少年育成町民会議(各種団体による構成)】



今年度もフードバンクさがさんへ「新鮮野菜」をお届けしました

お腹を空かせた子ども達の未来を作るために活動をされている特定非営利活動法人「フードバンクさが」干潟由美子理事長に、まちづくり協議会で育てた新鮮野菜を今年度も定期的に収穫をしてお届けしました。令和4年2月から取り組んだこの事業は、これまで68回に亘ってお届けしています。干潟理事長は、鮮度のいいお野菜に大変喜んでおられます。



R6年度も色んな無農薬野菜をフードバンクにお届けしました

今年もまちづくり協議会(農業部会・長寿部会)で育てたさつま芋の「収穫・保存・仕分け」を行い独り住まいの高齢者にお届けしました

まちづくり協議会の農業部会と長寿部会で5月に植え付けた(400本のつる)紅あずまが立派に育ちました。10月20日(日)、まち協ほか民生委員、女性部の皆さん24名で芋の収穫を行いました。芋の甘みを引き出すために1ヶ月程寝かせた、11月17日(日)に袋詰めをして独り住まいの高齢者112人に12月に開催されたふれあい交流会(校区社協主催)の招待状を添えてお届けしました。

また、まちづくり協議会では、この事業と併せてフードバンクさがさんへ紅あずま30kgをお届けしました。【取材日：11月17日(日)】



芋のつるを取り除く作業は大変でした10月20日(日)



一ヶ月程寝かせて泥落としをして袋詰め11月17日(日)



受持ち区域を民生委員の皆さんで配布しました



子どもおしくらまんじゅう大会を開催しました



日本の伝承遊び、おしり同士の相撲「おしくらまんじゅう大会」を開催しました。子どもの元気なかけ声と気合で、直径3mの円の中に5人一組になって腕を胸の前で組み、声をかけながら対戦します。

円から押し出されたり、崩れて尻もちをついたりしたら負けです。出場の6チームは審判の合図で力いっぱい声をかけ合いおしりの「技」を競い合いました。不規則な動きから思いがけない方向に引っ張られたりする熱戦に、応援の保護者にも力が入りました。今年は高学年の部、低学年の部ともに少年野球チームが優勝の栄冠に輝きました。表彰式では、優勝チームに手作りの金メダルと賞品が授与されました。最後は子ども、スタッフ、保護者皆で会場の後片付けと清掃を行いました。

【於：川上小 取材日：12月8日(日)子ども30人、大人40名計70名 まちづくり協議会主催】



立派な土俵が出来上がりました



不規則で予測不能な動きに



保護者も応援に力が入りました



最後は皆で集合写真に



手作りお正月料理(おせちと雑煮)教室を開催しました



師走に入り毎年恒例行事として開催される、川上校区自治会女性部(江頭優子部長)主催のお正月料理教室を取材しました。講師の村岡美鈴(食改協)さんから伝統的なおせちの一つ一つの意味、お重の一の重、二の重、三の重に詰めるおせちとレシピの説明がありました。皆さんで調理を分担し、味も見栄えも良い豪華なおせちが3時間ほどで出来上がりました。お正月には、レシピを参考に御家庭で再度挑戦されたのではと思います。おせちを囲み、一つ一つの意味を話題にしながらいただくのではないのでしょうか。【12月14日(土)参加者13名 自治会女性部主催 食改協よりサポート5名】



おせちの意味とレシピの説明



役割分担して手際よく



盛り付け方の見本です



おせちを前に全員で写真に

趣味の世界「絵手紙・鉛筆画」を展示しています

校区在住の山口浩子さん(絵手紙・鉛筆画・色鉛筆画)と西岡尚美さん(絵手紙)の作品を校区公民館フリースペースに展示しています。期間は2月28日(金)までとなっています。皆さん来館の際は是非ご覧ください。

